

公益活動報告書(市民活動実績報告書)(令和6年度)

宛先)岡崎市長

令和7年5月22日

団体名 NPO 全国家庭教育支援センター代表者 山本チヨエ構成員 40 人(※令和7年4月1日時点の構成員数)

団体の目的: 団体の会則・規約に定められた団体の目的を記入してください。

幼少期における家庭教育の重要性を伝え、父兄及び、児童・生徒の健全な育成に寄与することを目的とする
幼少期の脳の働きと成長など理論的に学び、伝えることの出来る人財育成を旨とする(家庭教育アドバイザー)

私達の団体が掲げる目的を実現した活動を、以下の項目に従って報告します。
なお、記載内容を一般に公開することに同意します。

■1 団体の活動目的達成に向けて、今年度はどのような活動をしましたか。(公益活動に限る)

活動日 又は期間	場 所	公益を受けた ものは?	受益者 (会員以外) 人数*1	活動内容
2024年4月～ 2025年3月	山本チヨエ 教育研究所 岡崎市	教育アドバイ ザー修了生	50名 (18名)	「教育家庭研究会」 教育アドバイザーが、更に知識を 深めて、地域に役立つ子育てコン サルタントになる為の教育
2024年4月～ 2025年3月	知立市助産院	一般	36名 (32名)	「マザーズ講座」 乳幼児の成長に合わせた子育て教 育方法
2024年10月	岡崎市図書館 りぶら	一般	220名	教育支援フォーラム 伝統文化・伝統行事を通して 子育てを考える
2025年2月	刈谷市	一般	300名	講演会 仕事・子育て・趣味の三刀流 豊かな人生の過ごし方

※1 公益を受けたものが「人」ではない、数が把握できない場合は記載がなくてもよい。<ex.自然環境>

■2 前項1に基づき、1年間の団体活動で岡崎市(広く市民社会一般)に何をもたらしましたか。

近代化する世の中での生活が進み、便利な反面、家庭教育や 親自身も多くの弊害も浮き彫りになってきた。
大きな犯罪や、不登校・引きこもり等社会問題として取り上げられているが本来はそうならない社会が理想である。
子どもに関わる人が前向きに考えていけるポイントをフォーラム等で広めた

■3 今年度の活動の公益性を自己評価し、付随する質問にお答えください。

①公益性の度合いを自己評価してください(数字に○をつけてください)

高い ← 5 (4) 3 2 1 → 低い

②上記の評価をした理由をお書きください。

軸の事業である「家庭教育アドバイザー」のオンライン化が遅れ、受講者への提供(講座開催)が
出来なかった。

裏面の自己診断チェックリストもご記入ください。